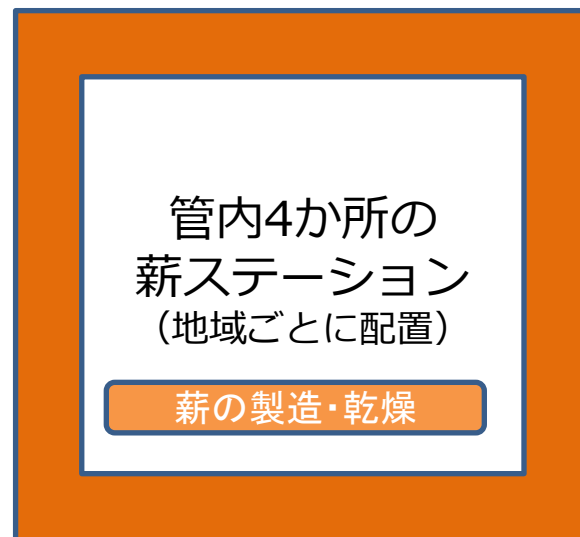


| 事業名 | 大北地域薪バンクプロジェクト(仮称) |
|--------------------------------|---|
| 事業実施主体・事業費 | 大北森林組合 (補助対象事業費 570千円 補助金 427千円) |
| 協力団体等 | 山林所有者、薪ストーブ製造メーカー、薪及び薪ストーブ販売企業、白馬村 |
| 事業の概要 | <p>豊かな広葉樹林資源を有効活用し、地域内の旺盛な薪需要に対応するため、組合員等の森林の状況を把握し、薪の安定的な生産、販売を実現し、増産を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 先進地調査(30.10.26) (伊那市「薪一」、松本市「オガサワラ林業」他) 参加者17人 2 展示会、アンケート調査の実施(30.9.30) 場所 大町市 来場者200人、アンケート回答50人 3 白馬村村有林調査、組合員等の森林資源調査(30.12月、31.1月) 調査箇所7か所 4 組合員、地域住民、関係者による検討会(31.2.8) 場所 大北森林組合 出席者8人 5 事例報告会・学習会の実施(31.2.26) 場所 白馬村 出席者50人 |
| 薪の流通システム 開設 | <ol style="list-style-type: none"> 1 組合員の協力を得て、薪生産可能な森林を把握し、薪バンクを開設し、原木の生産体制を整える。 2 組合員が参加して、薪原木の生産を行う。 3 増産に向け、生産地を確保し、販売条件や薪生産方法を整備する。 |
| 事業の効果 | 森林資源の把握、原木を提供可能な人材の確保、検討会による生産増に向けた体制プランを策定 |
| 事業成果、 良かった点、反省点 今後の改善点など | <ul style="list-style-type: none"> ・当初は、県外への販売も視野に入れていたが、地域内需要が大きいことから、まずは地域内での流通を確保するプランに変更することとなった。 ・白馬村との連携により、公共施設・民間施設へ販売する計画が進んでいる。 ・森林からの伐採を進めるため、森林資源調査も継続的に行いながら、今までの東売り主体からコンテナを使用した販売も行うことで消費者層の拡大を図り、コストを抑える。 ・薪材料の提供に意欲のある森林所有者の確保が出来た。 ・薪ステーションの開設や薪材料の提供者の組織化を進めたい。 ・再生可能エネルギーとしての薪と広葉樹の活用を推進していく。 |

薪バンクのイメージ図(2/3)



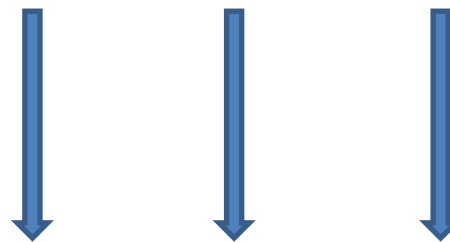
大北地域の豊かな広葉樹資源



組合員(森林所有者)が伐採・搬出

組合が代行して伐採・搬出

【さらに】
○災害時に有効な薪ストーブとの組み合わせを普及啓発し、ユーザーを増やす



○公共施設、薪ストーブユーザー、薪ストーブ販売店等への運搬、販売⇒コンテナを使用

実施状況写真(3/3)



H30.12～H31.1月 森林資源調査



H30.9.30 普及啓発とアンケート調査



H30.2.26 事例報告会・学習会



H30.2.26 事例報告会時の薪ストーブ展示